

科目名	民族音楽学演習	形態	演習	開講期	秋学期
担当教員	新海 立子	単位	1	年次	3

＝授業科目の目標＝

日本音楽のうち、一般に伝統音楽あるいは伝統芸能と呼ばれているジャンルから能楽と歌舞伎を対象とする。手附などの検討に基づく鑑賞を行って、日本音楽の特徴を理解し、説明できるようになることを目標としたい。

＝履修の条件と学習の方法＝

日本音楽研究には、音楽体験に時間をかけることが大切である。授業に参加し、話し合うことによって、考察を深めます。毎回、授業のまとめと気づいたことをレポートとして提出します。携帯端末使用は禁止します。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認
- 2回 能楽と歌舞伎の歴史および舞台の特徴
- 3回 能楽囃子の楽器1：四拍子
- 4回 能楽囃子の楽器2：演奏の実際
- 5回 歌舞伎囃子の楽器：出囃子と蔭囃子
- 6回 歌舞伎の音楽1：長唄と三味線譜本
- 7回 歌舞伎の音楽2：小鼓
- 8回 歌舞伎の音楽3：太鼓と能管
- 9回 歌舞伎の音楽4：義太夫節
- 10回 歌舞伎の音楽5：舞踊の囃子
- 11回 能楽の音楽1：謡事と囃子事
- 12回 能楽の音楽2：出端事、入端事、舞事
- 13回 歌舞伎の音楽6：補足
- 14回 能楽囃子と歌舞伎囃子1：本質的違い
- 15回 能楽囃子と歌舞伎囃子2：特色の整理

＝成績評価の方法と評価の基準＝

学期末には報告書として、自分の意見と考察を含んだレポートを提出してください。毎回提出レポート50%、学期末レポート試験50%の割合で総合評価します。授業を充分理解し、参加に問題がない場合はA評価、欠席遅刻がいちじるしい場合はB・C評価、授業をいちじるしく妨害した場合はD評価もありえます。

＝テキスト（必携）＝

特になし